

はまだおんせんしりょうかん
浜田温泉資料館

亀川浜田 3 - 21 別府市
国登録有形文化財（建造物）
平成 18 年 8 月 3 日登録

浜田温泉は、明治 12 年（1779）古市村の高橋増吉が畑に植えた麦の生育が早いことを不思議に思い、そこを掘削したところ温泉が湧き出した。その後、明治 22 年（1889）に地元の名士永田重郎によって整備された。

大正 9 年（1920）永田卓爾御越町長は、浜田温泉を木造 2 階建の浜田温泉館として改築し、1 階は男女浴室と砂湯、2 階が料亭であった。現在の建物は昭和 10 年（1935）別府市建築技師池田三比古の設計によって建築された。外観は唐破風の上に千鳥破風を乗せた重厚な宮造りで、当時関東地方の和風銭湯に取り入れられて流行していた。これをいち早く建築意匠として設計に組み入れた。

施工業者 新築 小嶋豊吉（昭和 10 年 5 月 21 日竣工） 解体 ㈱平野工務店（平成 15 年）
復元 ㈱近代設計工房（平成 17 年 8 月 29 日竣工） （外山 健一）

